

使いこなされる エレメント

- well-used elements -

敷地：東京都北区赤羽 稲付谷の暗渠 - site

JR 埼京線西側 (赤羽 - 十条間) にあるすり鉢状の谷

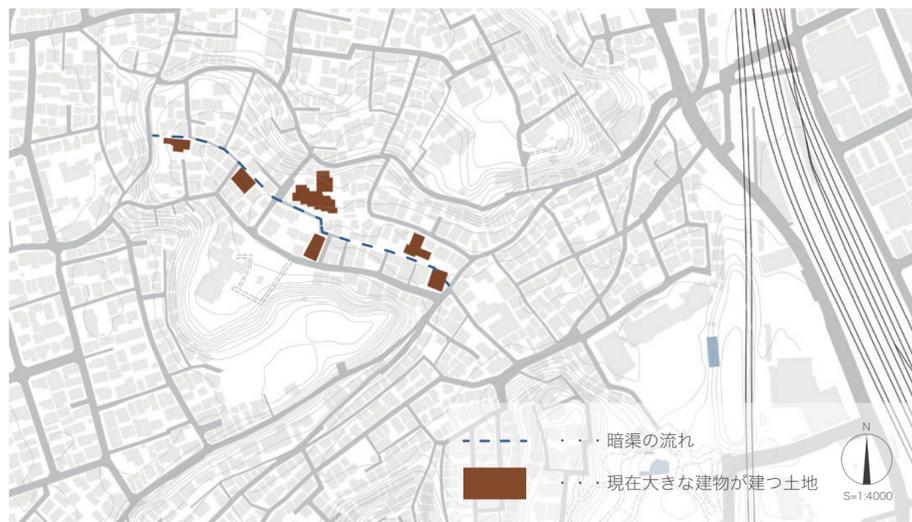
- ・屋根勾配が織りなすリズム
- ・空の輪郭
- ・家々の間に滲む生活感
- ・隙間を縫うように歩く猫

→環境が『使いこなされる』様子を魅力を感じた



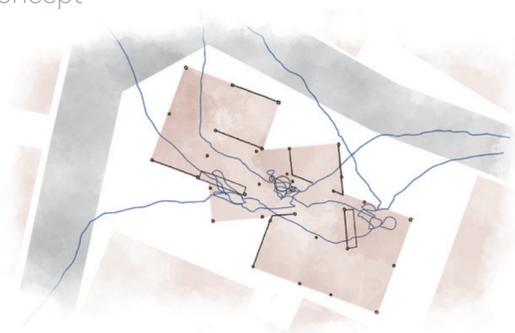
一方で近年、この道沿いの一部の民家が大きなマンションやアパートに建て替えられる動きが進んでいる。

本計画によって、徐々に失われつつある玄関先や庭など都市の隙間にあったはずの地域住民たちの交流場所を取り戻す。



コンセプト：家のように使いこなされる公共空間 - concept

谷地の魅力的な古からの風景の延長として、一方で新たにこの地域の人々の拠り所となる場所として、地域住民たちがふと立ち寄ることができるような公共空間を道沿いに散りばめ、まちの家としての機能 (玄関、居間、食卓、書斎、本棚) を各所に与えた。

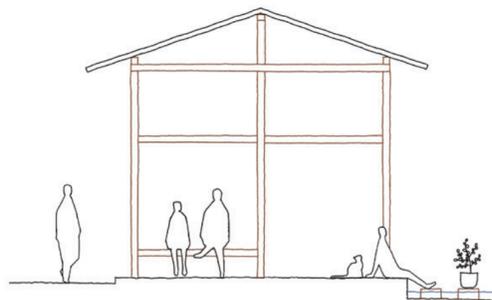


計画：暗渠の再生と廃材の利用 - plan

風景に溶け込ませる手段として、既存のまちに存在するエレメントを再構築することを考えた。

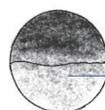
ex)

- ・暗渠として現在も地下を通る水流
- 地上に表出させ道沿いの交流を誘発するランドスケープに
- ・水路によって境界が分けられなくなった一部のブロック塀
- 解体され水路上の棚や道として使われる足場に



暗渠沿いの既存エレメント - existing elements

暗渠下の水路など環境的なもの、塀のブロックや家の柱梁など構造的なもの。これらのエレメントをそのままに、形を変えて人々の交流を生む。



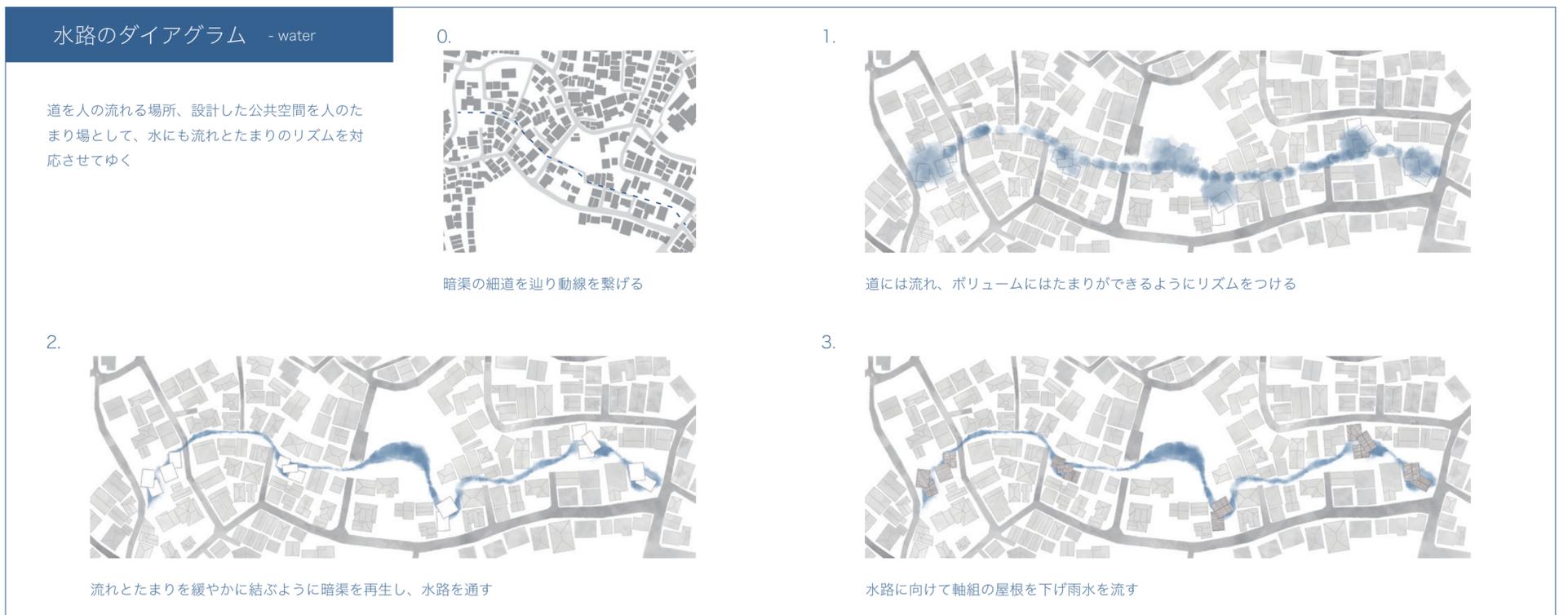
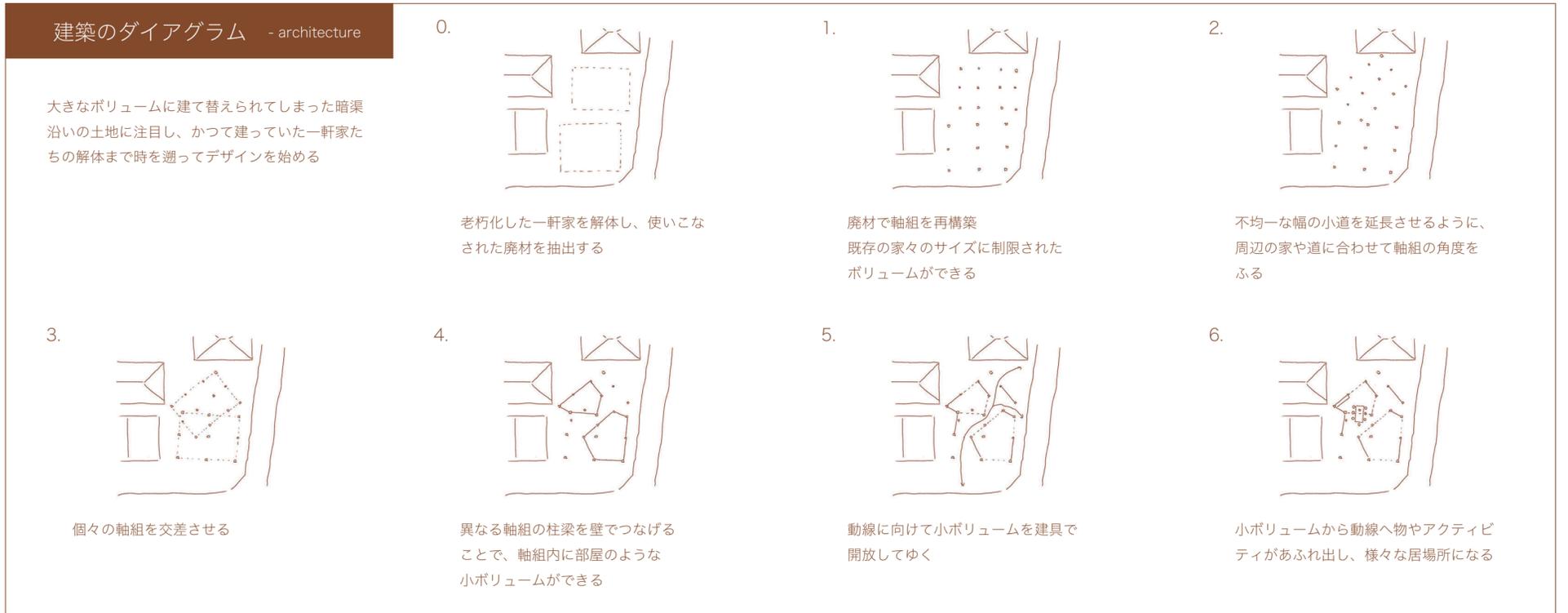
上水と下水が合流する地下

▼presentation movie



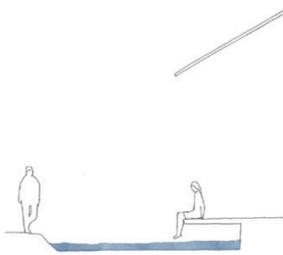
ダイアグラム - diagram

現在マンションなど大きなボリュームに建て替えられてしまった敷地5箇所を計画の対象とし、建て替え前の小さな住宅ボリュームに分解して再構築する。



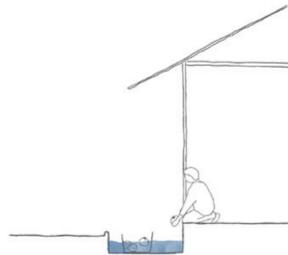
水路が生む風景 - waterfront scenes

水路として地上に再生された水面は、交流や憩いの場となり人々の行動を誘発する。



張り出た縁側

水辺にひらけたテラスは都市の中に落ち着きを与える



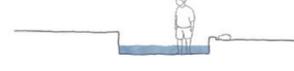
野菜の洗い場

マーケットに届けられた新鮮な野菜の泥を落とす



帰り道の冷蔵庫

運動帰りの学生たちが溜まった水で飲み物を冷やす



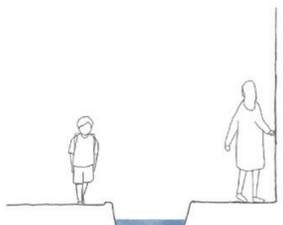
親水の散歩道

都会で育つ子供たちに親水の機会を与える



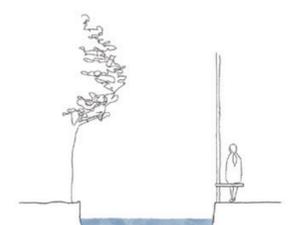
床下の貯水槽

非常時には建物の下に貯められた水が汲み上げられる



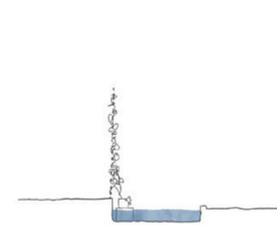
ランドスケープの共有

塀の代替として庭と道の境界を分けつつ目線をつなげる



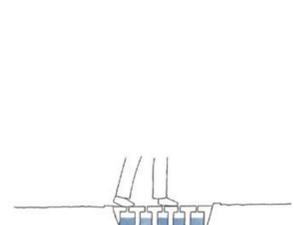
木漏れ日が映る

水の溜まり場に映る木漏れ日が午後の屋根をあたたく照らす



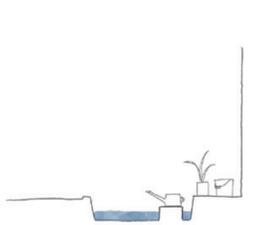
緑のカーテン

水上に置かれた植木鉢から伸びる植物が目線を区切る



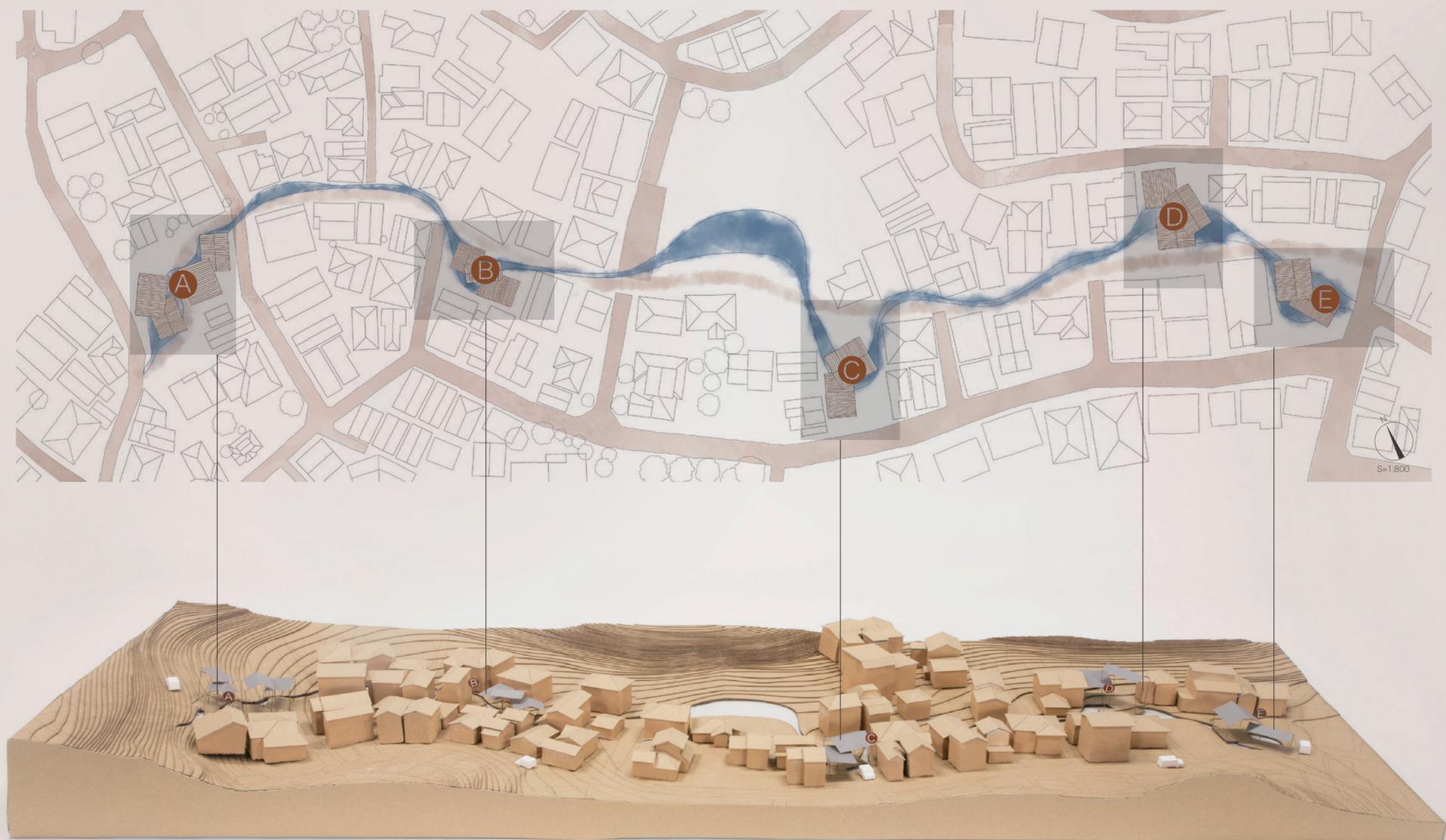
水上の横断歩道

細いスリットが開いた構造体が水の流れを通しつつ橋となる

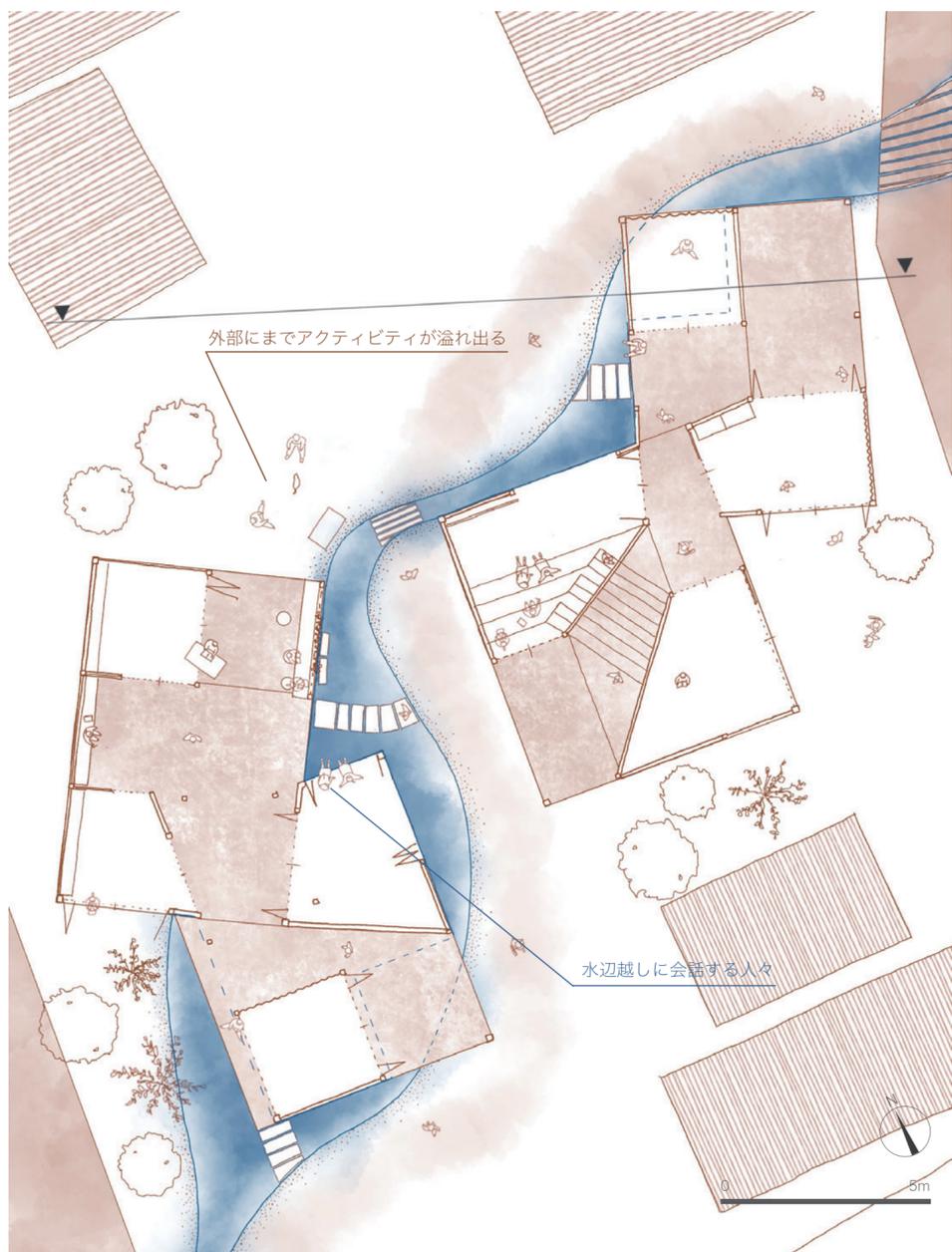


水上の個性

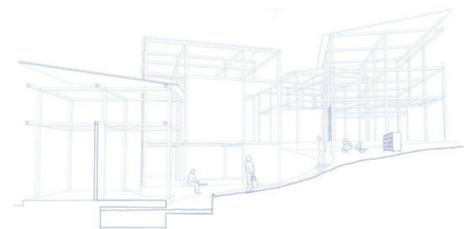
ブロックでできた水上の棚に各家の生活のモノが表出する



A まちのライブラリー - library

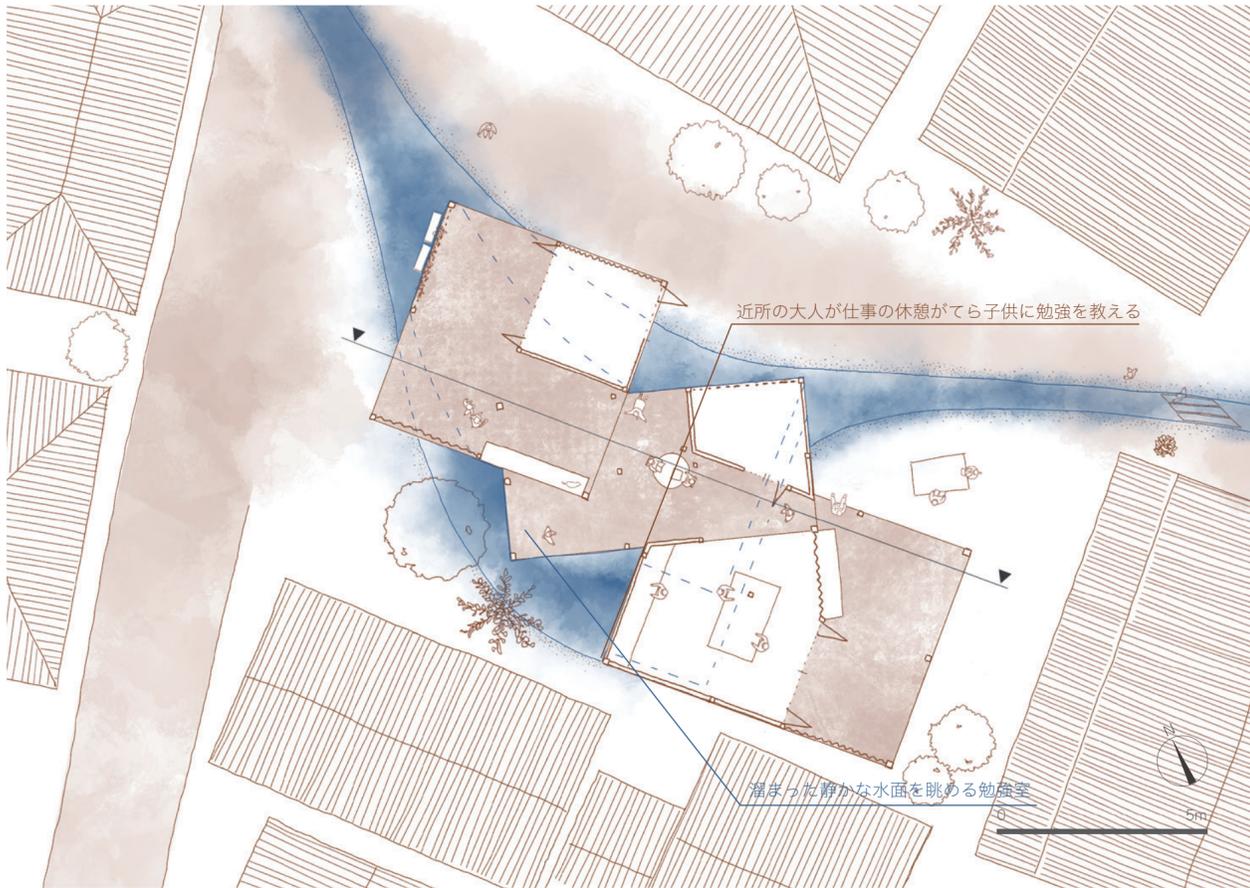
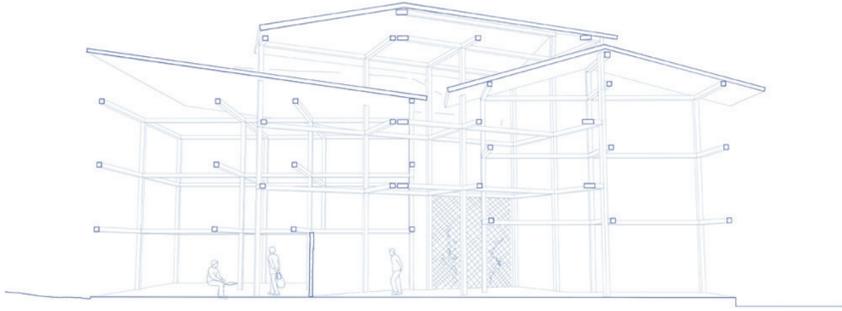


見晴らしの良い斜面にはライブラリーを設けた。
 水を眺めながら読書をしたり、水たまりを挟んで道沿いの人と内部の人との間に会話生まれる。
 シアタールームではご老人が子供に読み聞かせをしたりと世代を超えた交流が見られる。



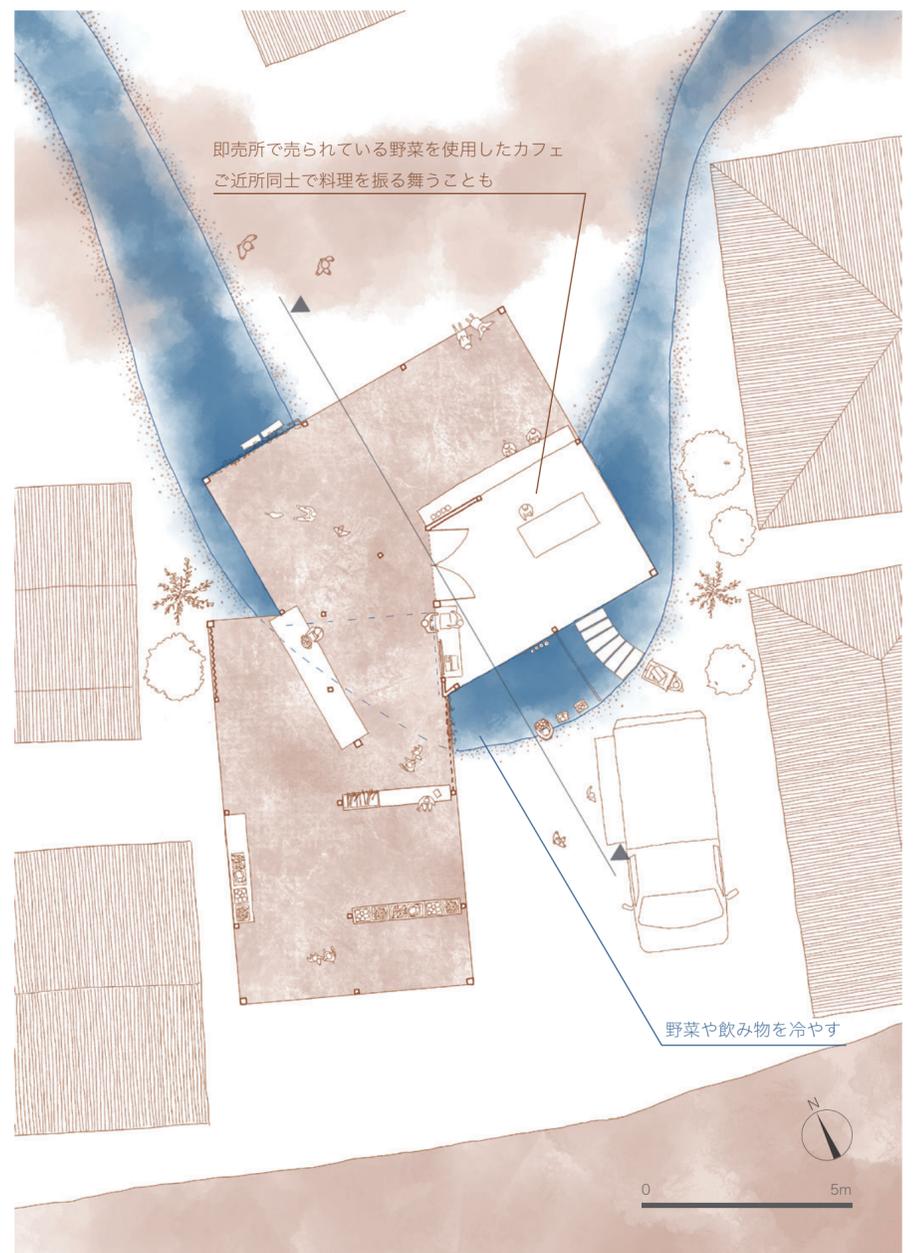
B まちの勉強室 - study

閑静な住宅地の隙間にある土地には勉強室を設けた。
子供たちは自習室として、大人たちはオフィスとして。または自宅ではできないような作業をするアトリエとして利用される。子供たちが仕事の休憩中の大人から勉強を教わったり、手芸が得意なお母さんたちの手芸教室が行われたりする。

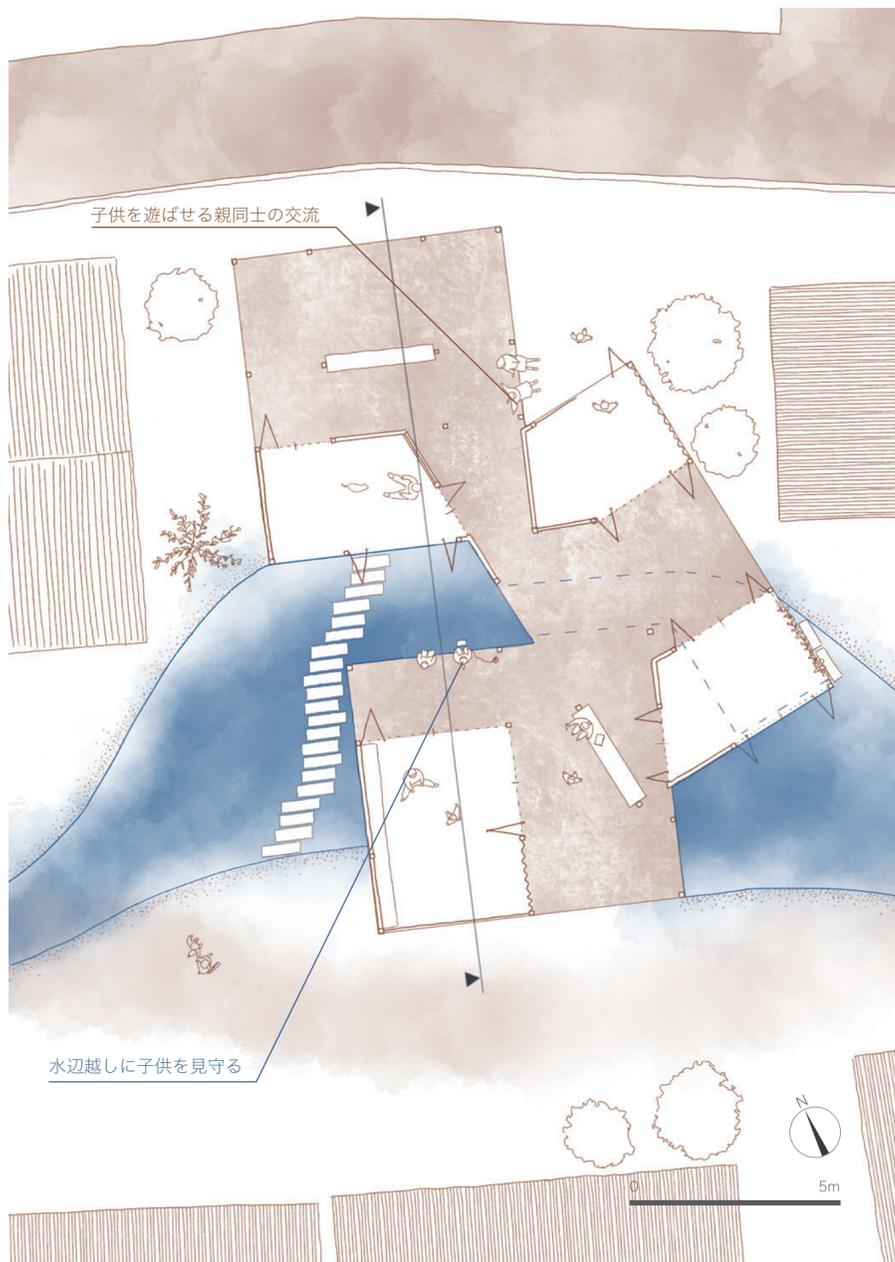


C まちのダイニング - dining room

車の通りが多い道路との間にある土地には、まちの食事処・ダイニングを設けた。
日替わりでキッチンカーや野菜の即売車があるマーケットと、マーケットのものを使った料理をまちに提供するキッチンが併設されている。キッチンはまちの人も自由に利用することができ、部活終わりのお腹をすかせた学生たちに地域のお母さんが料理をふるまうような風景も見られる。



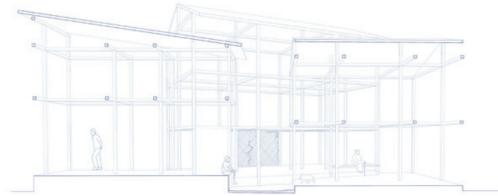
D まちのリビング - living room



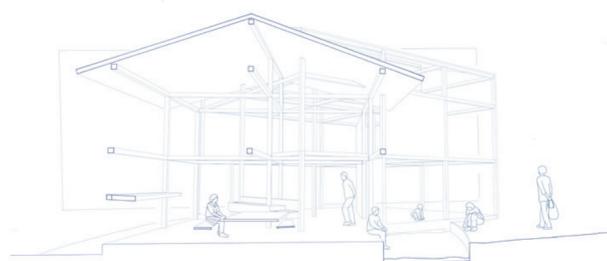
隣の道とを結ぶ土地には、通り道をつくるように居間を設けた。

子供を遊ばせる親同士の交流や、通りがかりのご老人と子供のあいだに会話生まれる。

梁上から白い屋根の裏面に向けた照明は薄暗い住宅街の細路地を間接的に照らし、軸組自体が街灯となる。



E まちの玄関 - entrance



小中学校の通学路であり駅までの主動線である道路沿いに、道の出入り口となる玄関を設けた。

向かいの駄菓子屋で買ったお菓子を持った小学生や部活帰りの中高生が自然と集ったり、買い物帰りのご老人が休憩所として利用する。

ここで水路はふたたび地下に潜り、この先の暗渠を辿って川へと流れてゆく。

